

今後取り組むべき方向性

- 県民一人ひとりが健康づくりに取り組み、生涯にわたり「**生き活きと安心して健やかに暮らせる健康長寿の奈良県**」を目指し、スポーツの持つ様々な効果、価値を活用して、**だれもが、いつでも、どこでもスポーツに親しめる環境づくり**に引き続き取り組む
- 2020年東京オリンピック・パラリンピックなど、スポーツへの関心が高まる中、全ての県民がスポーツの価値を見だし、「**スポーツの楽しさ**」を実感できるよう取り組む

	＜平成21年度～24年度＞ なら運動・スポーツ振興プラン	＜平成25年度～29年度＞ 奈良県スポーツ推進計画	＜平成30年度～34年度＞ (改定版)奈良県スポーツ推進計画
目指す姿	・ 県民一人ひとりが健康づくりに取り組み、高齢になっても健康で生き活きと暮らす人が増える健康長寿の県	・ 生き活きと安心して健やかに暮らせる健康長寿の奈良県	生き活きと安心して健やかに暮らせる健康長寿の奈良県 だれもが、いつでも、どこでもスポーツに親しめる環境づくり 1回合計30分以上の運動・スポーツを週2日以上実施している人の割合50%以上
基本目標	・ 奈良県民のだれもが、いつでも、どこでも運動・スポーツができる地域づくり	・ だれもが、いつでも、どこでも運動・スポーツに親しめる環境づくり	
目標数値	・ 1回30分以上の運動・スポーツを週2日以上実施する習慣を有する人の割合40%以上	・ 1回合計30分以上の運動・スポーツを週2日以上実施している人の割合45%以上	
策定時実績	29%(H19)	34%(H23)	44%(H28)
これまでの取組成果と見直しの視点	＜これまでの取組成果＞ (主な指標) ○総合型スポーツクラブ育成率 41%(H22) → 100%(H29) <small>(全39市町村で設立済み)</small> ○プロスポーツの有料試合数 5試合(H24) → 44試合(H28)		＜見直しの視点＞ ① ライフステージだけでなく、子育てやビジネスパーソンといったライフスタイルに応じた施策を展開 ② 「子どものスポーツ」を新たに施策の柱として位置づけ、重点的に推進 ③ 東京オリ・パラ等の機会をとらえ、キャンプ地や強化合宿を招致し、スポーツを通じて地域を活性化
	(新たに開催したスポーツイベント) ○奈良マラソン(H22～) ○バトンをつなげ！400mリレーフェスティバル(H25～) ○リレーマラソン(H25～) ○ツアーオブ奈良まほろば(H25～) ○Kobo Trail(H26～) ○アウトドアチャレンジレース(H28～)		
(スポーツ施設の整備・活用) ○奈良県フットボールセンター(H22) 2面目の拡充(H29) ○学校運動場の芝生化(五條高校:H29、御所実業:H28 など) ○ジョギング&サイクリングステーション(H25) ○まほろば健康パーク・スイムピア奈良(H26) ○明日香庭球場クラブハウス(H27) ほか ○ネーミングライツの導入 <small>(佐藤薬品スタジアム:H22～、ジェイテクトアリーナ奈良:H28～)</small> ○橿原公苑陸上競技場の夜間開放(ナイトラン)(H22～)		＜施策体系(6項目の基本戦略)＞ I ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツの推進 (1)だれもがスポーツに親しめる地域スポーツの推進 (2)子どもを健やかに育むスポーツの推進 (3)県民に夢と感動を与える競技スポーツの推進 (4)スポーツ施設の整備・活用 II スポーツを通じた地域振興 (1)スポーツによる地域のにぎわいづくり (2)東京オリンピック・パラリンピック等を契機としたスポーツの振興と交流促進	
(国際大会のキャンプ地等招致) ○女子サッカー豪州代表チームのリオ五輪最終予選事前キャンプ(H27)		＜計画の進行管理＞ ・ 指標を大幅に追加(9→16) ・ 県、市町村、総合型地域スポーツクラブ等が中心となり、計画に基づく実践活動を推進するため、「奈良県スポーツ推進協議会」を設立	